

マルチメディアと AI の融合 法人向けマルチメディア対応 AI プラットフォーム 「BlendVision AiM」が全面リニューアル

1 ユーザー 月額700円～でAIプラットフォームが導入可能！
「マルチメディア + AI」でチームの活用・共有を実現する
AI 機能の強化と使いやすいUI へ進化

台湾、シンガポール、マレーシア、そして日本... アジア太平洋圏に事業拠点を持つ AI マルチメディアテクノロジーグループである KKCompany Technologies の日本法人である KKCompany Japan 合同会社（本社所在地：東京、代表：トニー・マツハシ、以下 KKCompany）は、KKCompany が持つ動画技術と AI 活用技術を融合させた マルチメディア対応 AI プラットフォーム「BlendVision AiM」（ブレンドビジョン・エイム）を提供し、企業・教育機関・官公庁における「マルチメディア + AI」活用によるコミュニケーション活性化、業務効率化、働き方変革を促進してまいりました。

そしてこの度、この BlendVision AiM が大きな進化を遂げました。2024年4月に発売を開始した BlendVision AiM の AI 機能をユーザーからのニーズに応え大幅に強化、さらに「チームの活用・共有」を促す「マルチメディア + AI」プラットフォームとして大幅リニューアルいたしました。

これまでの AI チャットボット機能に加えて、会議録画や企業の研修動画・動画マニュアルなど、テキストデータのみならず動画を含んだマルチメディアコンテンツを最大限活用できる様々な AI 機能が強化・追加されました。またユーザーが直感的に「マルチメディア + AI」をチームで活用・共有できるように UI を向上させ、併せて価格体系を見直しました。従来の容量ベースの月額プランから、ユーザーあたりの月額プランとし、1 ユーザー 700円 (月額。年間契約) からご利用いただくことが可能となり、より多くの企業が BlendVision AiM を導入しやすくなりました。

BlendVision AiM

「BlendVision AiM」の特徴、進化のポイント

1. AI 活用技術の進化

- 対話型 AI チャットボットによる動画を含むマルチメディアコンテンツの探索・情報抽出や分析、さらには複数・大量の会議動画、研修・マニュアル動画、文書ファイルなどでも横断的に検索、抽出が可能
- 音声認識 + 自動文字起こしによる情報は勿論のこと、画像認識や動き、音・トーン強弱の変化をも取り扱う「マルチモーダル」対応可能な AI 活用技術を搭載
- 自動タグ付け、自動シーン分割を予め AI が分析・提供することで、対話型 AI チャットボットを活用しなくとも、おおよその内容理解と情報探索、該当動画シーンへのジャンプが可能

2. UI の進化

- 直感的で使いやすいユーザー画面 (UI)
- ユーザー毎のホーム画面 + パーソナライゼーションを実現
- さらには「マルチメディア + AI」をチームで活用・共有を推進できる UI デザイン

3. スマート・ミーティング（会議の有効活用を AI がアシスト）機能の拡充

- 会議録画データ、音声データを元にした自動文字起こし、投影画像情報などから、要約および決定事項・ネクストアクションのリスト化および共有
- オンライン会議ツールとの自動連携（現段階では Google Meet のみ。他ツールも順次対応予定）

4. スマート・ラーニング（研修動画・マニュアル動画などの大量のコンテンツの有効活用を AI がアシスト）機能の拡充

- 動画だけでなく、プレゼン資料、PDF 文書を含めた研修・マニュアルの一元管理およびトレーニングコースの作成、受講者割り当て、進捗管理

5. ユーザーごとの月額料金体系への変更

- 従来の容量ベースの月額プランから、ユーザーあたりの月額プランとし、1 ユーザー 700円 (月額。年間契約) からご利用いただける料金体系へ変更、より多くの企業での BlendVision AiM 導入が可能

KKCompany からのコメント

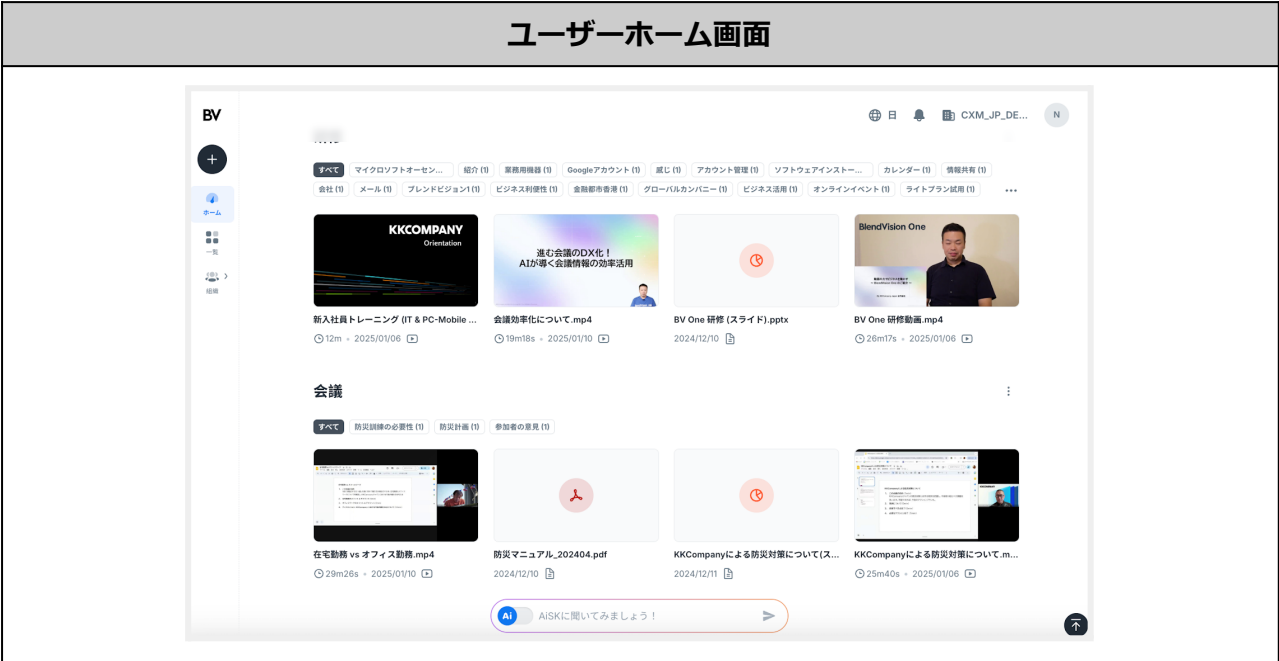
KKCompany Japan 合同会社
日本統括代表 トニー・マツハシ

このたび、マルチメディア対応AI プラットフォーム「BlendVision AiM」が全面リニューアルされ、皆様にご利用いただけますことを大変嬉しく思います。ドキュメントのみならず動画等のマルチメディア情報の活用を、今まで以上にAI が強力にアシストし、さらにはチームでの協業や情報共有を推進すべく使い勝手を一新しました。

今現在、多くの企業が「ビジネスの効率性やスピードを高めるべくAI の活用を推進したいが、社員のAI リテラシーをどう向上させていくか」といった課題に取り組んでいます。社員が能動的にAI への指示出しをせずとも、AI が予め自動的に動画等の情報を分析し、自動タグ付け、シーンの自動分割やシーン毎の要約を用意することで、ひと目でAI 分析結果の確認を可能としました。これによりさらなる深掘りやAI 分析へのきっかけ作りにもなり、社員のAI リテラシーやAI 筋力の向上がよりスムーズに推進できるものと自負しております。またより多くの企業で導入いただけるよう価格体系を変更しました。AI 活用のさらなる推進を通じて皆様のビジネスや業務の強化にお役に立てることを願っております。

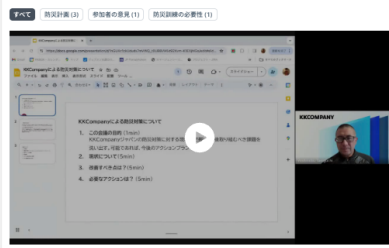
BlendVision AiM 概要

機能：AI による動画・音声・文書データの探索・抽出・要約、動画文字起こし、会議要約、
研修・マニュアルの一元管理およびカリキュラム作成、自動タグ付け・自動シーン分割
価格：(1ユーザー 700円/月～) 初期費用無料。10ユーザーからかつ年間契約。いずれも税抜価格
製品ページ：blendvision.com/ja-jp/aim
想定ユーザー：コールセンター、製造業、教育をはじめとしたあらゆる業界
想定活用シーン：会議要約・振り返り、研修・マニュアル、メディア制作



スマート・ミーティング

KKCompanyによる防災対策について.mp4



+ 添付 KKCompanyに...

Summary Action Items Decision Key Questions

Summary

本日の会議では、KKカンパニーの防災対策の現状把握と今後の課題の洗い出しを行った。会議中に、西新宿オフィスで火災発生後の対応状況が共有され、現状の問題点として、渋谷オフィスや西新宿オフィスの防災訓練の実施状況が十分であることや、避難場所の指定がされていないことが挙げられた。特に、渋谷オフィスの備品備置がない状態や、災害時の連絡体制が不整備であることが指摘された。これらの課題を踏まえ、移転後の渋谷オフィスにおいて防災訓練を含むBCPの策定

スマート・ラーニング

企業DX成功の秘訣！4ステップで競争力を引き上げる

★ 5 評価 4セッション 山田 太郎 2023.3.29公開



この講座から学ぶこと

- よくあるDX推進の5つの失敗要因
- B2B企業のDX成功事例の6つの特徴
- DXプロジェクト管理の6原則

セッション参加

DX戦略 リソース データ活用 組織変革 技術導入 プロジェクト管理 競争力強化 イノベーション 事例研究

コース紹介 講師紹介 セッション一覧 おすすめカリキュラム

コース紹介

山田太郎氏は、多くの企業がDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める中で、適切なステップを踏まないことで競争力を失っていることを指摘します。DX推進を成功に導くには、技術の導入だけでなく、組織文化や顧客体験の根本的な見直しが必要です。本コースでは、以下の4つのステップに分けて、企業DXを体系的に学べます：

- DXの現状分析
- 顧客体験設計
- 業務プロセスの最適化
- データ活用と成果測定

対象者

- DX推進を担当する中間管理職
- デジタル化が必要な業界の経営層
- 現場業務を効率化したいビジネスリーダー

【KKCompany について】

台湾、シンガポール、マレーシア、そして日本... KKCompany Japan 合同会社は、アジア太平洋圏に事業拠点を持つAI マルチメディアテクノロジーグループである KKCompany Technologies の日本法人です。

1999年の創業以来、最先端のIT／メディアテクノロジー、クラウドや AI 技術を活用して、音楽配信事業「KKBOX」、動画・ライブ配信ソリューション「BlendVision」を展開するマルチメディア事業、さらにクラウド・AI による DX 推進事業と、多様なビジネスをワールドワイドに展開しています。

HP: blendvision.com/ja-jp/aim

【本件に関するお問い合わせ先】

KKCompany 広報事務局／（株）ユース・プランニング センター
野中・河名・久保田

TEL: 03-6821-8699 FAX: 03-6821-8869

E-mail: kkcompany_pr@ypcpr.com

河名携帯：090-7900-2759、野中携帯：090-7900-6184